柏崎市移住・定住推進パートナーチーム

施策 提案書

－ 住む人来る人の**満足度**が高く最高に**熱い**まちへ －

令和４（２０２２）年9月３０日（金）

提案書の構成

1. 目的の整理

１－１. 柏崎市がパートナーチームに求めること
１－２. パートナーチームの問題意識

2. 本提案で目指したこと

２－１. 官民が連動できる戦略案の作成
２－２. 大きな方向性と小さな施策

3. ビジョンと３つの重点項目

３－１. ビジョン／目指す柏崎の未来像
３－２. ３つの重点項目

4. 問題と原因の整理

４－１. 問題定義の考え方
４－２. 移住施策に関連する現状の問題と原因
４－３. 定住施策に関連する現状の問題と原因

5. 施策提案

５－１. 柏崎市の特性とポジショニング
５－２. セグメンテーションとターゲッティング
５－３. 具体的なペルソナ設定
５－４. 施策群と具体的な施策案
５－５. カスタマージャーニー

6. 実装に適したマネジメント構造

６－１. パートナーチームの役割
６－２. ビジョンに連動するＫＧＩ・ＫＰＩ設定
６－３. マーケティングファネル
６－４. 官民連携のマネジメント体制

7. さいごに

７－１. 今後のスケジュール
７－２. 添付資料

1－1. 柏崎市がパートナーチームに求めること

1. 官民の橋渡し役を担うこと
2. 市民をポジティブなマインドに変えていくこと
3. 効果的な施策提案を行うこと

1-2. パートナーチームの問題意識

1. 官民が強みを発揮しあえていないこと
2. 施策が縦割りでスムーズに連動していないこと
3. 官民共通の方向性や戦略をつくれていないこと

1-2. パートナーチームの問題意識

― 目的 ―

市民の暮らしに対する満足度を高めながら
移住・定住の推進により
人口減少の流れを緩和すること。

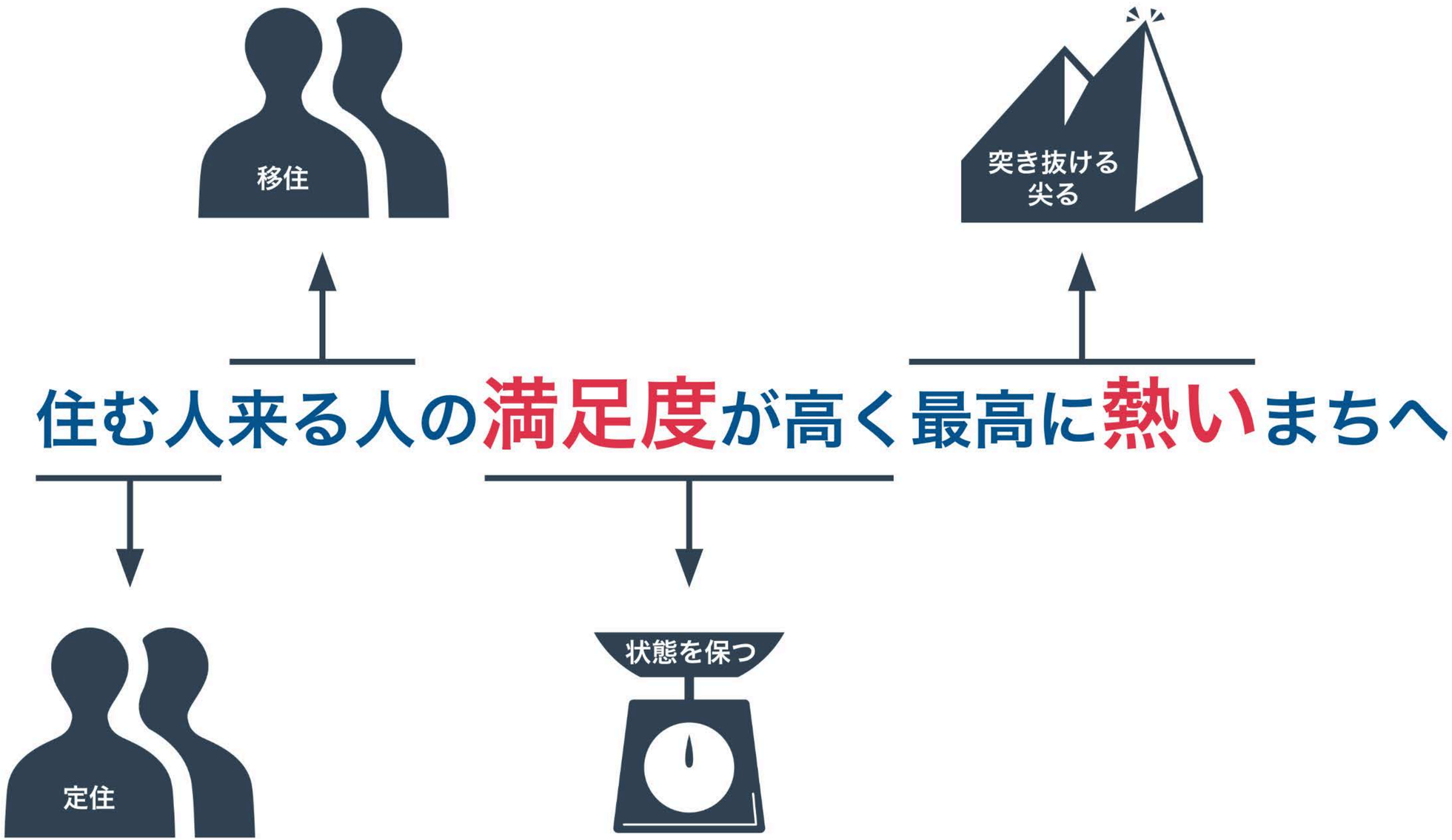
２－１. 官民が連動できる戦略案の作成

1. 官民が強みを活かせる役割分担を検討すること
2. 官民連携のマネジメント体制を構築すること
3. 戦略立案・実行を担う“チーム”になること

２－２. 大きな方向性と小さな施策

1. 官民共通の大きな方向性＝ビジョンを作ること
2. ビジョンを実現する小さな施策を立案すること
3. 実現可能で持続可能な施策群を整理すること

3ー1. ビジョン／目指す柏崎の未来像



3－2. 3つの重点項目

住む人来る人の**満足度**が高く最高に**熱い**まちへ

交流

柏崎と繋がり
共感し合える**コミュニティ**

仕事

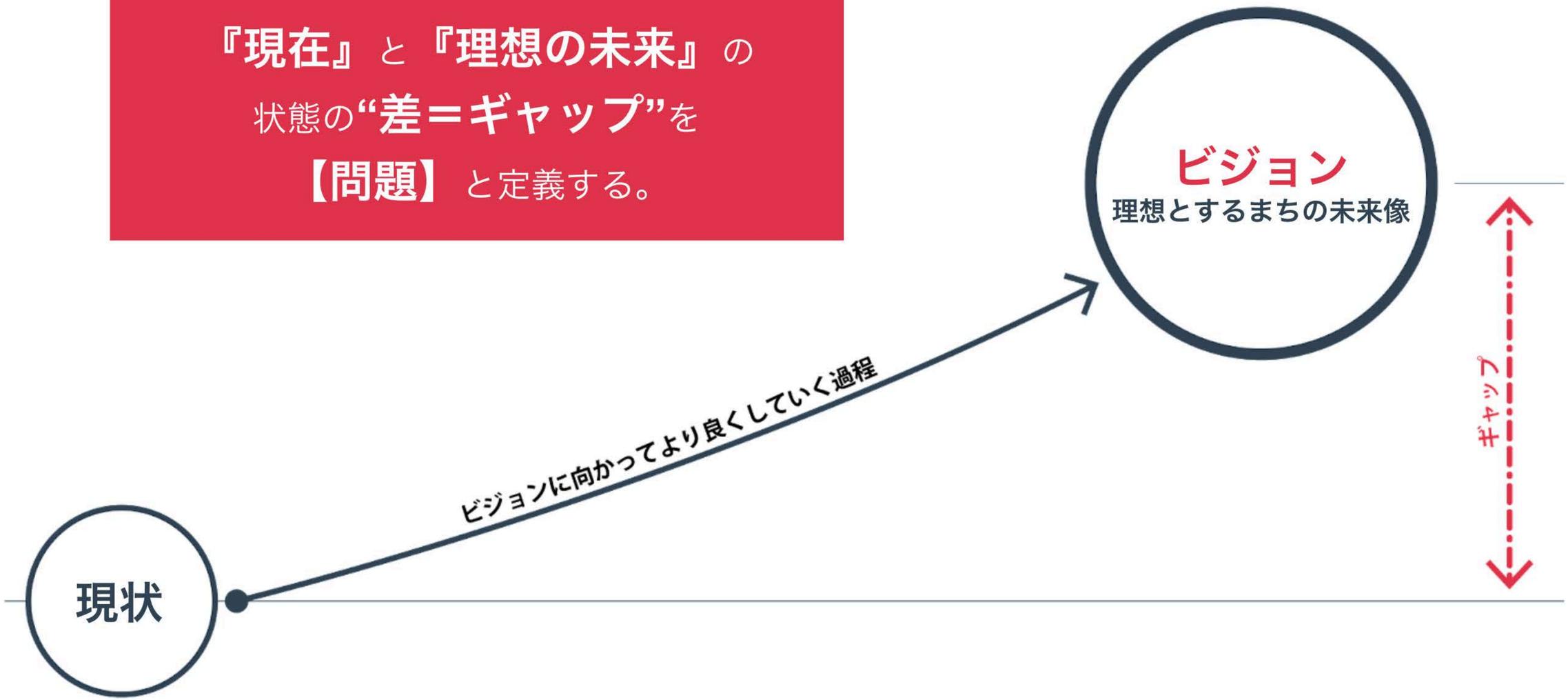
仕事と住まいの**マッチング**
コンシェルジュ

教育

0歳児から大学生までの
学びのサポーター

4－1. 問題定義の考え方

『現在』と**『理想の未来』**の
状態の**“差＝ギャップ”**を
【問題】と定義する。



４－２. 移住施策に関連する現状の問題と原因

問題のうち、移住施策に影響度の高いもの

ー 現状とビジョンのギャップとは何か ー

柏崎の誇れる魅力に気づいておらず、気づいても市内、市外に伝える人材が少ない

- 地元で良いとされる魅力のシンボルがない
- 資源の魅力を言語化できていない
- まちの魅力を学ぶ教育環境が少ない

仕事や住まいの選択肢が少なく、適切な情報が伝わっていない

- 柏崎独自の情報を把握し辛い
- 内容のミスマッチが起きている
- ニーズに沿った提案をできる人がいない

人との繋がりが弱くなり、移住者の入り口となるコミュニティも少ない

- 移住者を歓迎する空気感がない
- コミュニティの中心人物がいない
- 場の選択が少ない、行きづらい

４－３. 定住施策に関連する現状の問題と原因

問題のうち、定住施策に影響度の高いもの

ー 現状とビジョンのギャップとは何か ー

支え合いの仕組み、シェア文化がない
- 当事者が声をあげることができない
- 個人や家族で問題を抱え込んでいる
- 柏崎の資源がうまく循環していない

新しいチャレンジが少なく、ムーブメントが起こりづらい
- 主体的にチャレンジする人が少ない
- 若年層への投資が少ない
- チャレンジを応援する基盤がない

特に困っていないため、危機感がうすく現状維持でいる
- 今の柏崎には必要ないと思っている
- 地域への関心が低く、主体性も低い
- 地域の問題を自分ごととして捉えていない

５－１. 柏崎市の特性とポジショニング

地理	新潟の真ん中に位置し、隣接市町村も含めた経済文化圏で一通りの需要を満たすことができる。
人口規模	県内６番目の人口で、何か活動を起こすと多くの市民に認知してもらえるちょうど良い規模感がある。
地域資源	海沿い・山間部・中心市街地と、エリアごとに文化の違いがあり、ライフスタイルを選ぶことができる。

研究・教育	市外県外から多くの人材が進学している大学が２つあり、次代の担い手の輩出に貢献している。
産業	機械や食品等の製造業が盛んであり、ものづくりのまちとして多種多様な技術を有している。
希少性	日本唯一の水球プロチームがあり、ジュニアからの育成環境がある。U－２２では市外出身者が多く在籍。

5－2. セグメンテーションとターゲッティング

市外在住 移住施策対象範囲	市内出身者	19歳以下	20～24歳	25～29歳	**30～34歳**	35～39歳	40～44歳
市外在住 移住施策対象範囲	市外出身者	19歳以下	20～24歳	**25～29歳**	30～34歳	35～39歳	40～44歳
市内在住 定住施策対象範囲	市内出身者	**19歳以下**	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳
市内在住 定住施策対象範囲	市外出身者	19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	**40～44歳**

５－３. 具体的なペルソナ設定

プロフィール

名前：みか　　所在：東京都渋谷区
年齢：３０歳　　住居：賃貸マンション
家族：夫２３歳　　仕事：ITベンチャー
セグメント：市外在住市内出身者

属性・概要

大学進学で都市部に出て、結婚
妊娠し、これから子育てする

・趣味は野菜作り。
◉平日のライフスタイル
・フレックスタイム制の勤務形態。
・主に勤務時間は９：００～１８：００だが自由がきく。
◉休日のライフスタイル
・土日祝は完全休み。
・夫と都内のカフェでのランチやショッピング。
・ベランダで家庭菜園にチャレンジしようとしたことも。
◉情報の取得方法
・柏崎のことについては両親から電話で聞くことが多い。

行動シナリオ

時 間	平 日	休 日
06:00	起床・朝食	睡眠
08:00	出勤・仕事	起床・朝食
10:00	仕事	夫とお出かけ
12:00	昼食	昼食
14:00	仕事	ショッピング
16:00	仕事	家庭菜園
18:00	退勤	自由時間
20:00	夕食	夕食
22:00	TV・ネット	TV・ネット
24:00	就寝	就寝

５－３. 具体的なペルソナ設定

プロフィール

名前：たつ　　所在：大阪府
年齢：２６歳　　住居：一人暮らし中
家族：父、母、弟　　仕事：大学の契約社員
セグメント：市外在住市外出身者

属性・概要

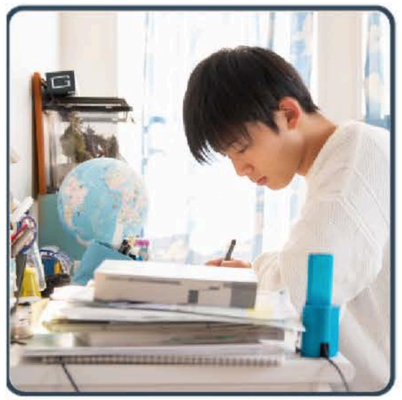
一度就職はしてみたものの、やりたい仕事が諦めきれない

・趣味は登山。
◉平日のライフスタイル
・８：３０～１７：３０までフルタイム勤務。
・残業があることも。
◉休日のライフスタイル
・関西圏で、趣味の登山などのアウトドアアクティビティを楽しむことが多い。
・近隣県への旅行に行くことも好き。
◉情報の取得方法
・野外活動系のオンラインコミュニティ、Facebook、Instagram

行動シナリオ

時 間	平 日	休 日
06:00	起床・朝食	睡眠
08:00	出勤・仕事	起床・朝食
10:00	仕事	登山
12:00	昼食	昼食
14:00	仕事	登山
16:00	仕事	登山
18:00	退勤	帰宅
20:00	夕食	夕食
22:00	SNS等	SNS等
24:00	就寝	就寝

５－３. 具体的なペルソナ設定



プロフィール

名前：しゅん　　所在：新潟県柏崎市
年齢：１７歳　　住居：実家
家族：父、母、妹、弟　仕事：高校生
セグメント：市内在住市内出身者

属性・概要

地域の大人と関わる機会を
欲している好奇心のある学生

・趣味はゲーム。
◉平日のライフスタイル
・バスケ部に所属しており、平日夕方、休日午前中は部活動。
・学校の宿題はやらずにすっぽかすときがある。
・週１塾に通っている。夜はテレビ、スマホゲーム、たまに勉強。
◉休日のライフスタイル
・午前の部活後、友達とラーメンを食べてカラオケへ。
・たまに家族で出かけることもある。ひとり時間にはゲームや読書。
◉情報の取得方法
・スマホでソーシャルメディアから情報を得る他、両親から聞くことも。

行動シナリオ

時 間	平 日	休 日
06:00	睡眠	睡眠
08:00	起床・登校	起床・登校
10:00	授業	部活
12:00	昼食	昼食
14:00	授業	カラオケ
16:00	授業・部活	ゲーム
18:00	帰宅	ゲーム
20:00	夕食	夕食
22:00	ゲーム	読書
24:00	就寝	就寝

５－３. 具体的なペルソナ設定

プロフィール

名前：よしこ　　所在：新潟県柏崎市
年齢：４１歳　　住居：持ち家
家族：夫、長女、次女　仕事：建設業事務員
セグメント：市内在住市外出身者

属性・概要

結婚で柏崎に来て、子育ても
一段落し自分の時間が増えた

・趣味はタヒチアンダンス。
◉平日のライフスタイル
・仕事は８：３０～１７：３０まで。
・帰宅後は夕食を作り、その後は家族団らん。
◉休日のライフスタイル
・タヒチアンダンスの講師を努めている。
・音市場などイベントがあると、ダンスメンバーと出演する。
・行きつけのお店のプティポワでランチをすることが多い。
◉情報の取得方法
・Instagram、Facebook。その他に、ダンス仲間など知人からも。

行動シナリオ

時 間	平 日	休 日
06:00	起床・朝食	睡眠
08:00	出勤・仕事	起床・朝食
10:00	仕事	家事など
12:00	昼食	昼食
14:00	仕事	ダンス講師
16:00	仕事	ダンス講師
18:00	退勤	夕食
20:00	夕食	家族団らん
22:00	家族団らん	家族団らん
24:00	就寝	就寝

5－4. 施策群と具体的な施策案

7つの施策群
Seven’s Urban Policies

1 仕事
具体的な施策

移住マッチングサイト
・・・
インキュベーション施設
・・・
学生アイデアコンペ

2 住まい
具体的な施策

お試し体験移住
・・・
移住マッチングサイト
・・・
シングル用シェアハウス

3 教育
具体的な施策

柏崎愛を育む総合学習と定点アンケート
・・・
新たな学びの環境整備
・・・
大学生の柏崎への愛着を育む

4 交流
具体的な施策

オンラインコミュニティ
・・・
地元住民との接点づくり
・・・
移住コンシェルジュ
・・・
柏崎初心者マルシェ

5 広報
具体的な施策

メディア戦略の強化
・・・
転入出時追加アンケート
・・・
防災無線の広報活用
・・・
移住リーフレット作成

6 子育て
具体的な施策

夜間保育園の整備
・・・
キッズマジック無償化
・・・
子どもの医療費補助

7 施設
具体的な施策

資源のパッケージ化
・・・
アートキャンパス
・・・
海上アスレチック

５－４. 施策群と具体的な施策案

施策名

施策案①：**移住マッチングサイト制作・運用**

内容

①新たに掘り起こした柏崎の魅力ある仕事と市内事業者から募った求人情報

②空き家を含む移住者向け住まいの情報

③各地域の住民による地域別ライフスタイル紹介

①～③を掲載し、ＳＮＳ等で広報しながら移住希望者とのマッチングを図る。

実施主体

・Ｗｅｂ制作事業者
・市内不動産事業者
・各地域住民の代表者
・パートナーチーム
・柏崎市

頻度・期間

２０２３年４月より制作開始

予算

サイト制作・運用手数料
◉３００万円

記事作成にかかる人件費
◉１２０万円

５－４. 施策群と具体的な施策案

施策名

施策案②：**お試し体験移住＆シェアハウス**

内容

柏崎への移住に少しでも興味を持ってくれた方向けに、空き家等をリフォームしてお試しで住める家やシェアハウスを確保し、短期のお試し移住を推進し、柏崎に触れてもらう機会を創出する。

実施主体

・市内不動産事業者
・パートナーチーム
・柏崎市

頻度・期間

２０２３年４月より
リフォーム開始

予算

リフォーム代金
◉５００万円

運営にかかる人件費
◉１００万円

５－４. 施策群と具体的な施策案

施策名

施策案③：**柏崎愛を育む総合学習と定点アンケート**

内容

子どもたちが、柏崎の魅力やまちの好きにフォーカスできる総合学習プログラムを作成し、市内小中高の総合学習の時間で、本プログラムを実施してもらい、子どもの頃から本気で柏崎を楽しむ大人と触れ合ったり、柏崎の良さを発見する機会を創る。

その上で、将来的に柏崎に戻りたいかを毎年アンケートで定点把握する。

実施主体

- 市内全小中高等学校
- パートナーチーム
- 新潟県
- 柏崎市

頻度・期間

２０２３年４月より

予算

講師報酬
◉１３６万円
（２万円×２名×３４校）

５－４. 施策群と具体的な施策案

施策名

施策案④：**市内２大学学生定住大作戦**

内容

新潟工科大学、新潟産業大学との連携を強化し、学生向けに柏崎の経営層やスポーツ選手など地域の大人と交流する企画を定期的に実施し、学生のレベルアップに貢献するとともに、卒業後も柏崎に残ってもらえるように促進する。

実施主体

・青年団体など
・パートナーチームで連携
・柏崎市

頻度・期間

２０２３年４月より

予算

講師報酬
◉１２万円
（２万円×６回）

５－４. 施策群と具体的な施策案

施策名

施策案⑤：**オンラインコミュニティ・ＳＮＳ開設**

内容

柏崎への移住に関するオンラインコミュニティをつくり、定期的に柏崎のお試し移住やイベント情報などを発信する。

実施主体

・市内ＮＰＯ団体等
・パートナーチーム
・柏崎市

頻度・期間

２０２３年１月より

予算

管理者に対する報酬
◉２４万円
（２万円×１２ヵ月）

５－４. 施策群と具体的な施策案

施策名

施策案⑥：**移住コンシェルジュ設置**

内容

移住に関する情報を集中させ、ＳＮＳや移住マッチングサイトで柏崎に興味を持ってくれた方に対して、個別のニーズに応える機能を果たす。

実施主体

・パートナーチームと柏崎市で連携

頻度・期間

２０２３年１月より

予算

移住コンシェルジュ報酬
◉１５０万円
（相談件数７５件×２万円）

5－5. カスタマージャーニー

フェーズ	認知	興味関心	移住検討	関係構築	移住	交流	共有拡散
チャネル	SNS TV フライヤー	オンライン コミュニティ	移住サイト 移住相談会	短期滞在 個別相談	アクション	オフライン コミュニティ	SNS TV フライヤー
行動	SNS等で取組を知りフォローする 主要メディアで取組の様子を見る フライヤーを見て取組の概要を知る	オンラインコミュニティに登録する	移住サイトで検索・検討する 移住相談会で意見交換する	短期滞在でイメージを膨らませる 個別相談でより具体的に検討する	意思決定し移住する	様々なコミュニティに関わる	SNS等で移住体験を発信する 主要メディアで移住体験を語る フライヤーに事例として掲載される

６－１. パートナーチームの役割

1. 移住・定住に資する戦略をたてる参謀的役割
2. 官民連携の中核を担う中間調整的役割
3. ポジティブなマインドを醸成する旗振り的役割

６ー２. ビジョンに連動するＫＧＩ・ＫＰＩ設定

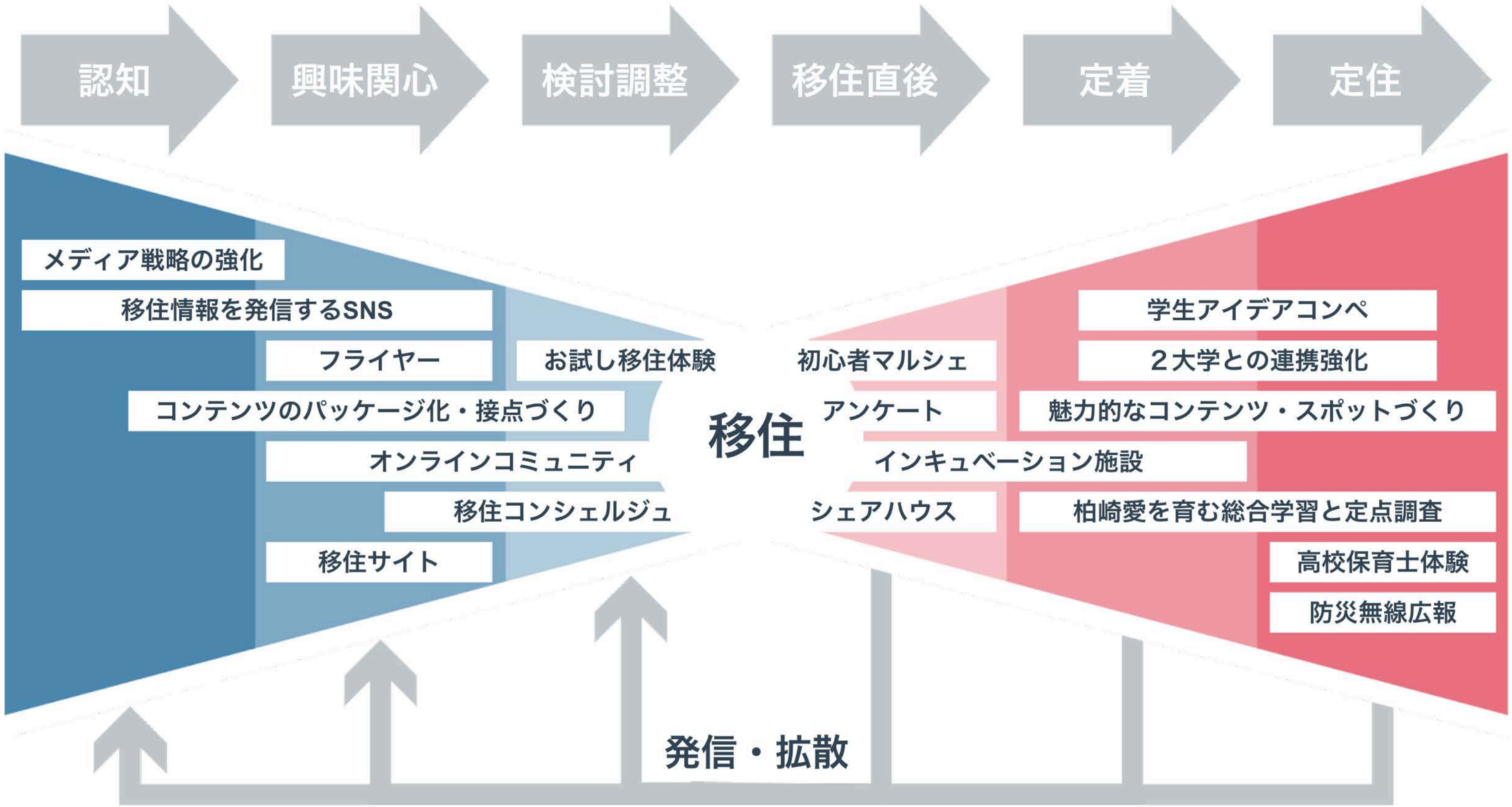
Key Goal Indicator

市内在住者：柏崎に満足していて今後も住み続けたいと回答する人の割合が１０％増。
移　住　者：移住検討時よりも柏崎に満足していると回答する人の割合が７０％以上。

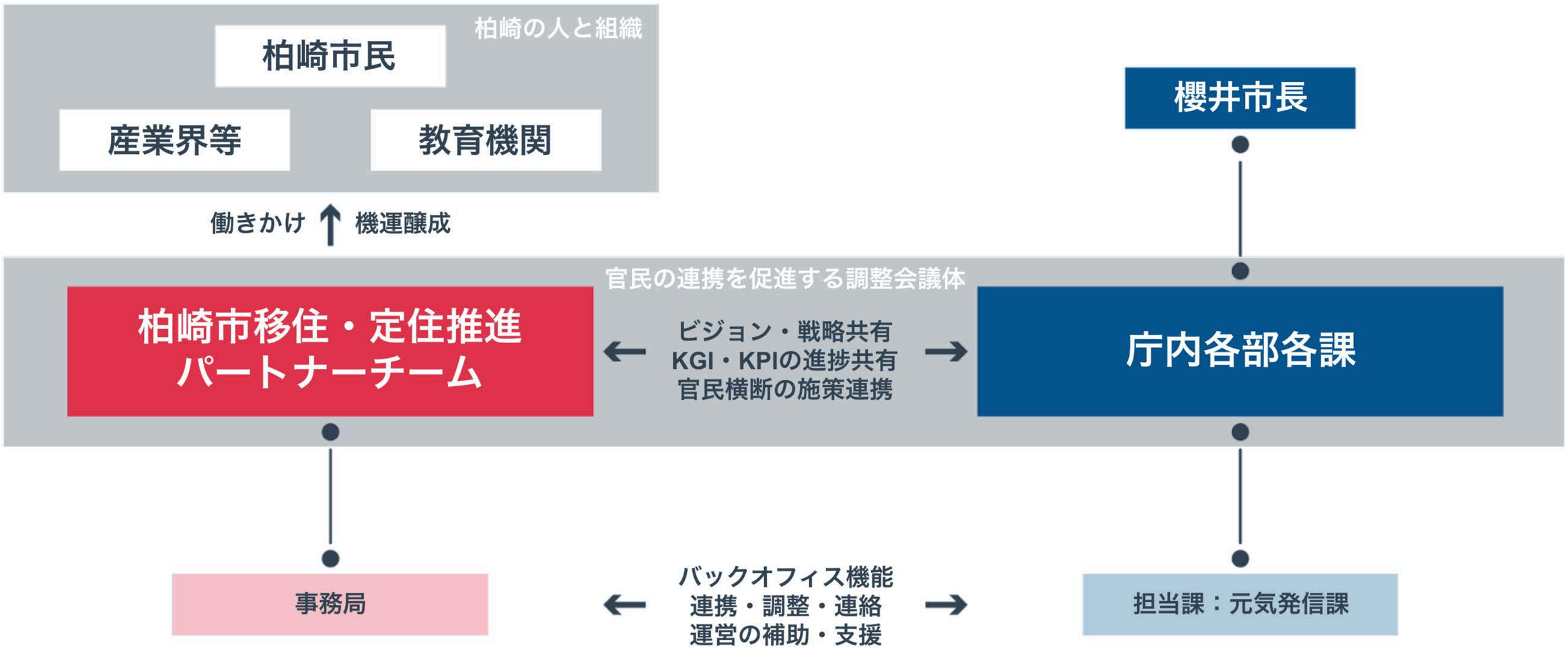
- オンラインコミュニティ登録人数
- 移住コンシェルジュ相談件数
- 移住サイトのコンテンツ掲載件数
- お試し移住体験参加世帯数
- 柏崎に戻ってきたい割合
- 地域の大人と交流する企画数

Key Performance Indicator

6－3. マーケティングファネル



６－４. 官民連携のマネジメント体制



7ー1. 今後のスケジュール

	2022.5〜2022.9	2022.10〜2023.3	2023.4〜2024.3
パートナーチーム立ち上げ			
施策提案内容の検討・作成			
アンケート・ヒアリング			
櫻井市長への施策提案			
SNSアカウントの開設・運用			
オンラインコミュニティ			
座談会・ミーティングの開催			
移住コンシェルジュ			
移住マッチングサイト製作			
移住マッチングサイト運営			
総合学習プログラムの検討			
２大学連携の企画・運営			
お試し移住プログラムの検討			

７－２. 添付資料

別紙１　問題定義・原因分析・課題設定ワークまとめ

別紙２　施策案一覧

別紙３　柏崎市移住・定住に関する簡易アンケート調査集計結果

別紙４　簡易アンケート設問７施策アイデア分析結果

別紙５　ヒアリング調査結果

別紙６　マーケティング戦略基礎データ

別紙７　新潟県内移住支援制度比較